



牧草収穫とサイレージ調製の留意点

牧草の生育は、5月の低温と日照不足の影響を受け、平年並からやや遅れて生育しています。ほ場の生育状況を確認し、牧草の収穫作業に備えましょう。

1 牧草収穫について

収穫時の刈り取り高を低くしすぎると、収穫後の再生や茎数確保に影響します。また、春に散布した堆肥・スラリーや土砂の混入によりサイレージの品質悪化が懸念されます。10cm程度の刈り取り高を確保しましょう。

2 サイレージ調製の留意点

- (1) バンカーサイロやスタックサイロ周辺にぬかるみがあると土砂などの異物混入のリスクが上がります。ぬかるみを取り除きホタテの貝殻や敷き草を敷設するなど、サイロ周辺の整備を行いましょ。
- (2) シャープな切断面を確保するため、モアコンやハーバスタの刃の研磨・調整を励行しましょ。
- (3) 切断長は10~12mm程度とします。刈り遅れる場合は、乾物摂取量を上げるという観点から、切断長をやや短めに設定しましょ。
- (4) 踏圧作業は原料草を30cm以下に薄く散らして十分に踏み込みましょ。
- (5) 運搬スピードと踏圧作業のバランスを考慮しましょ。踏圧車輛台数を増やしたり、サイロ2本同時詰めなど、踏圧重視の作業を徹底しましょ。

ラップサイレージ

- ・ロールバール成形後は、速やかにラップで密封しましょ
- ・ラップは4層巻きを基本に行いましょ。長期保管(越冬)用、刈り遅れで茎が固くラップが破損する恐れがあるロールバールは、6層巻きにしましょ
- ・排水のよい場所で保管し、フィルムのズレやロールバールのつぶれを防ぐため2段縦積みとしましょ。また、ネットをかけるなど鳥獣害対策を行いましょ。

牧草収穫作業など複数の作業が重なる時期です。
声を掛け合うなど農作業事故には十分に気を付けてください！
牛の暑熱対策だけでなく、ヒトの熱中症対策も怠らずに



HPは「宗谷農業改良普及センター」で検索、
またはQRコードから